

令和3年度

特定非営利活動法人 だんでらいおん

通常総会 議事進行書

日時：令和3年 5月22日(土)

11時10分～12時00分

場所：だんでらいおん 新館1階

○会員総会成立の確認

会員総数 令和2年度 117名

出席会員 名(内委任状出席 名)

○議長の選出及び挨拶 _____

○議事録署名人の選任(2名) _____ / _____

◇議案

第1号議案 令和2年度 事業報告

第2号議案 令和2年度 決算報告 監査報告

第3号議案 令和3年度 事業計画(案)

第4号議案 令和3年度 予算(案)

第5号議案 役員改正(案)について

◇報告事項

会員、寄附金の状況

特定非営利活動法人 だんでらいおん

令和2年度 事業報告

令和3年5月22日

新館 11:00～

《新型コロナウイルス感染症対策の取り組み》

①設備投資について

設備名	設置数	金額	備考
空間除菌脱臭機 ジアイーノ	11台	2,089,780円	令和3年度1台追加、計12台
センサー型手指消毒・石鹼ディスペンサー	58個取付・9個設置	747,758円	取付工事含む
非接触体温計	3個	15,513円	
PCR・抗原検査キット	PCR 70キット 抗原検査50キット	718,684円	別紙「購入・使用状況」参照
マスク、使い捨て手袋、防護服（71着）、 フェイスシールド、霧吹きボトル、アルコール 消毒液、次亜塩素酸水、石鹼液	多数	1,891,124円	
合計		5,462,859円	内大阪府助成金2,230,000円

《新型コロナウイルス感染症対策の取り組み》

②職員への見舞金（慰労金）支給について

- 7/5支給 2,280,000円（慶弔規程に基づいて支給）
- 12/5支給 3,150,000円（緊急包括支援事業に基づく交付金を充当する）

この間、職員には職員同士の親睦、外食などの自粛を求めた。現在も継続して自粛している。

③地域貢献について

栗根施設長が、大阪府及び大阪府社会福祉協議会における「新型コロナウイルス感染症に係る社会福祉施設等への応援職員派遣要請に従い、下記の通り出向した。

- 1、派遣期間：令和2年12月22日（火）～令和2年12月26日（土）
- 2、派遣先：社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団 第2三恵園（障がい者支援施設）大阪府豊能郡能勢町大里222-5
- 3、派遣内容：グリーンゾーンにおける電話対応、衛生資材整備 等

PCR検査キット、抗原検査キットを常備し、体調不良者が出た際や週に1回の定期的な検査を行うことにより、新型コロナウイルス感染症の無症状者の早期発見、感染拡大防止の強化を図った。結果、**現在まで新型コロナウイルス感染症者は出ていない。**

《法人取り組みのまとめ》

(事業の開設及び再編)

- ・ 相談支援事業所の開設、生活介護事業所の再編を実施。 ※詳細は各事業報告にて

(改修工事)

- ・ 本館外壁等改修工事を実施。 6月11日に竣工。

(環境整備)

- ・ 生活介護事業所リアンにて「日産セレナ」を購入。 (日本財団助成金157万円)

《法人取り組みのまとめ》

（外部評価）

- ・評価機関NPO法人ほっと（堺）による第三者評価を受審した

生活介護事業所こんふおーと

（改善を求められる点）事故・苦情等記録様式を統一して、再発防止に繋がる記録に努め、事故後の対応・経過についても検証できる工夫が必要

だんでらいおん居宅介護事業所（行動援護）

（改善を求められる点）働きやすい職場として、出来るだけ労働時間に業務をしていく努力が望まれる

《法人取り組みのまとめ》

（地域貢献事業）

- ・大阪コミュニティ財団助成事業として（助成金額25万円）
令和3年3月29日（月）に『第9回地域学会 総合福祉セミナー』を新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン形式（LINE LIVE）で行った。
（追加備品 クリアパーテーション、動画保存用メディア、配信・録画用機器固定用具を購入）
『要介護者対応型避難所の準備』として、段ボールベッド6個、エアマットレス6個、災害対策用備蓄品セット12個を購入。
- 『小・中・高校生を対象とした地域ボランティア養成講座』『福祉教育講座』は開催を断念、中止となる。

（防災関係）

- ・ガス式インバーター発電機（共同募金助成）、スポットクーラー（よい美代子氏福祉基金助成）を導入した。

1、生活介護事業所「こんふおーと」「リアン」

【まとめ】

- ・利用実績については、前年度と比べ277名増加。収入については事業の再編により、生活介護事業の介護給費収入は前年度に比べ**17%増加**。
事業再編の現場への影響はまだ大きくはないが、徐々に事業所別という意識が出来てきた。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響によりスポンジ作業が減少、音楽活動を中止。かまどや出戸店の閉店によりポスティング作業も減少した。⇒利用者様の経験拡大、作業・活動、工賃確保のため、令和3年2月**ネスレMACHIECO便を開始**。
- ・アセスメントシートの情報整理・更新を年2回個別支援計画作成時に実施。今後も継続して行う。
- ・歩数計導入により、運動量が具体的に確認できた。今後データ化し、個別に目標数値を定めて運動量の向上、健康管理に努める。
- ・**利用者の会の規約（案）は完成**したため、今後、管理職・所属長会議等で確認し、令和3年度中の完成を目指す。

①開所日数 262日（令和元年度267日）

②年間利用実績（こんふおーと）

区分	こんふおーと	年間合計	1日平均
区分6	4330人	4330人	16.52人
区分5	865人	865人	3.30人
区分4	0人	0人	0人
合計	5195人	5195人	19.82人

前年度より84名利用増

平均障がい者区分5.8

※人員配置体制加算（I）・重度障がい者加算支援加算を算定

③年間利用実績（リアン）

区 分	リアン	リバティ	年間合計	1日平均
区分6	2786人	518人	3304人	12.61人
区分5	0人	780人	780人	2.98人
区分4	0人	262人	262人	1.00人
合 計	2786人	1560人	4346人	16.58人

前年度より193名利用増

平均障がい者区分5.7

※人員配置体制加算（Ⅱ）・福祉専門職員配置等加算Ⅰ・重度障がい者加算支援加算を算定

2、共同生活援助事業所 みんなの家

【まとめ】

- ・入居者様の異変（脈拍や呼吸、体動など）にいち早く気付き、病気の悪化予防や転倒のリスク軽減のため、障がい福祉分野におけるロボット等導入支援事業の助成を受けて、各居室に見守りセンサー（計15台）を導入した。結果、利用者様の安心、安全へと繋がった。
- ・食事に関しては、栄養士監修のもと、適切なカロリー・栄養バランスのとれたものを提供。食事提供前に検食を行うことにより食事の安全・質の向上を図った。結果、ホーム入居者様15名のうち12名が体重減少に繋がった。
- ・通年の利用実績は、昨年度と比べ若干増加。世話人、生活支援員の実績配置は基準配置を大幅に上回る。訓練等給付費収入は前年度に比べ、2.4%増加。
- ・人間ドックは、新型コロナウイルス感染症の影響により見合わせ。
- ・運動量に関しては、一日の歩数を記録に記載し、運動量を把握することにより、日中の運動の在り方を見直すきっかけとしている。

【年間利用実績】ホームに居た人数（延べ）

区 分	年間合計	一日平均
区分 6	4 6 5 4 人（前年度 4 6 2 8 人）	1 2 . 7 5 人（前年度 1 2 . 6 4 人）
区分 5	7 2 3 人（前年度 7 0 8 人）	1 . 9 8 人（前年度 1 . 9 3 人）
合 計	5 3 7 7 人（前年度 5 3 3 6 人）	1 4 . 7 3 人（前年度 1 4 . 5 7 人）

【年間利用実績】宿泊した人数（延べ）

区 分	年間合計	一日平均
区分 6	4 3 1 9 人（前年度 4 2 8 4 人）	1 1 . 8 3 人（前年度 1 1 . 7 0 人）
区分 5	6 6 7 人（前年度 6 2 7 人）	1 . 8 3 人（前年度 1 . 7 1 人）
合 計	4 9 8 6 人（前年度 4 9 1 1 人）	1 3 . 6 6 人（前年度 1 3 . 4 1 人）

生活支援員と世話人の配置（単位：時間）

【世話人の配置】 区分関係なし 4：1

【生活支援員の配置】 区分6 2.5：1 区分5 4：1 区分4 6：1

		年間合計	月平均
世話人	基準配置	7 8 2 0時間	6 5 1. 6時間
	予定配置	8 9 7 5時間	7 4 7. 9時間
	実績配置	8 9 7 8時間	7 4 8. 2時間
生活支援員	基準配置	1 1 8 9 0時間	9 9 0. 8時間
	加算配置	1 2 0 9 4時間	1 0 0 7. 8時間
	予定配置	1 4 5 6 1時間	1 2 1 3. 4時間
	実績配置	1 4 6 7 8時間	1 2 2 3. 2時間

3、だんでらいおん 居宅介護事業所

【まとめ】

- ・新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、公共交通機関の利用は取りやめたが、利用者様のニーズに沿って、運動中心の計画を行ったことにより、利用者様の運動量は大幅に上がり、健康の増進へと繋がった。
- ・行動援護に関しては、サービス提供時間が約350時間減ったものの、時間単価の高い短時間のサービス提供（主に夕方のウォーキング）が大幅に増えたため、介護給付費収入は**前年度に比べ約9%アップした。**

行動援護

登録利用者数 19名 (前年度 19名)

登録ヘルパー数 31名 (前年度 31名)

	稼働ヘルパー数	活動時間		稼働ヘルパー数	活動時間
4月	28人	436.5時間	10月	29人	479.5時間
5月	24人	353.5時間	11月	26人	394.0時間
6月	27人	377.5時間	12月	28人	319.0時間
7月	28人	452.0時間	1月	27人	383.5時間
8月	28人	404.0時間	2月	29人	498.5時間
9月	27人	406.0時間	3月	28人	488.0時間

合計 4992.0時間 (前年度 5347.5時間)

移動支援

登録利用者数 4名 (前年度 6名)

登録ヘルパー数 16名 (前年度 17名)

	稼働ヘルパー数	活動時間		稼働ヘルパー数	活動時間
4月	0人	0時間	10月	0人	0時間
5月	0人	0時間	11月	0人	0時間
6月	0人	0時間	12月	0人	0時間
7月	3人	5時間	1月	0人	0時間
8月	0人	0時間	2月	0人	0時間
9月	0人	0時間	3月	0人	0時間

合計 5時間 (前年度 140時間)

4、短期入所事業所 ルポゼ

【まとめ】

- ・感染リスク低減のため、大阪府に緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発令されている際は、「**こんふおーと**」「**リアン**」に通所している利用者様に限定。⇒利用実績は前年度と比べ、7.2%減少。介護給費収入は4.8%減少となった。
- ・HPを活用した予約システムの導入については、新型コロナウイルス感染症の影響で最終の打ち合わせが遅れている。**令和3年度上期での導入**を目指し業者と打ち合わせを進めていく。

年間利用実績

区分	男性	女性	合計
区分6	6 5 8名	6 9 1名	1 3 4 9名
区分5	1 1 6名	4 2名	1 5 8名
区分4	0名	0名	0名
区分3	0名	8名	8名
合計	7 7 4名 (前年度8 2 2名)	7 4 1名 (前年度8 0 3名)	1 5 1 5名 (前年度1 6 2 5名)

※ 前年度比 1 1 0名 (7. 2%) 減

5、だんでらいおん 相談支援事業所

【まとめ】

ホーム入居者様 15名、地域の利用者様 1名と計画相談の利用契約を結び、円滑なサービス利用へと繋げた。

	年間合計	月平均
サービス等利用計画	20件	1.6件
継続サービス等利用計画	59件	4.9件

6、地域との連携

矢田ふれあい祭り、夜警とも中止

7、法人全体

●法人設立15周年記念行事

日 時 : 令和2年11月 3日 (火)

内 容 : 職員勤続表彰、ゲーム等

参加人数 : 利用者15名 家族12名 職員13名 計40名

●第9回 総合福祉セミナー

令和3年3月29日（月） 大阪城南女子短期大学第5学舎からオンライン配信

実践報告のテーマ	発表者
「Withコロナ～未来へ繋げる！重度知的障がい者の安全と地域社会の安心のために、コロナで学んだこと」	久保 哲哉（NPO法人だんでらいおん）
「クラスター発生施設への応援を通して感じたこと、学んだこと」	粟根 亮（NPO法人だんでらいおん）
「生活介護事業所こんふおと・リアンにおけるコロナ対応」	森 正明（NPO法人だんでらいおん）
「コロナ禍でのモラルハザードと人権問題～苦情解決・第三者委員としての提言」	前田 崇博（大阪城南女子短期大学）
「コロナ禍での介護福祉士教育の現状と課題」	多田 鈴子 瀬 志保 長橋 幸恵（大阪城南女子短期大学）
若者応援プロジェクト 「私の夢・目標」①夢～私にできること～②挑戦～より良い生活のために～③発信～楽しいを広めよう～	奥廣 圭祐（THREE. PEACE333）

①外部研修

大阪府社会福祉協議会《5名》 他団体《1名》

②内部研修

- ・常勤職員を対象 『新型コロナウイルス感染症対策について』
- ・職員18名を対象 『インバスケット演習を使って学ぶ優先順位設定力向上』
- ・常勤職員を対象 『福祉専門職のあり方』

③施設見学 ※新型コロナウイルス感染症を勘案し、見合わせる。

④リーダー研修（主担以上を対象）

⑤キャリアアップ支援制度

- 行動援護従業者養成研修 2名
- 強度行動障がい支援者養成研修（基礎・実践） 2名
- 相談支援従業者初任者研修 3名
- サービス管理責任者等研修（基礎研修） 3名
- 介護福祉士実務者研修 1名
- 介護職員初任者研修 1名

8、団体加盟

①大阪府社会福祉協議会《常任委員会：久保統括施設長・従事者部会：辻部長》

②東住吉区自立支援協議会 日中活動系 《森施設長》
東住吉区自立支援協議会 居住系・相談支援 《栗根施設長》

9、その他

●福利厚生（健康診断）

時期	内容	医療機関	対象者	受診人数
7月	①定期健康診断 (視力・聴力・血液・レントゲン・尿・ 心電図・内科検診 等)	・ 関西健康福祉協会	常勤 非常勤	16名 23名
11月	①定期健康診断 (視力・聴力・血液・レントゲン・尿・ 心電図・内科検診 等) ②インフルエンザ予防接種	・ 関西健康福祉協会	常勤 非常勤	32名 19名
3月	①人間ドック	・ 松原徳洲会	常勤 40歳以上 及び管理職	18名

貸借対照表

令和3年3月31日 現在

資産の部	
流動資産	250,034,241
現 金	1,246,811
預 金	75,345,246
未 収 金	168,531,157
貯 蔵 品	139,697
立 替 金	379,565
前 払 金	4,391,765
固定資産	381,092,634
基本財産	337,650,985
建 物	201,379,923
土 地	136,271,062
その他の固定資産	43,441,649
建物付属設備	8,729,349
構 築 物	1,211,735
車輛運搬具	7,689,423
器具及び備品	5,770,806
建設積立預金	20,040,336
資産の部合計	631,126,875
負債の部	
流動負債	133,782,135
未 払 金	133,384,028
預 り 金	398,107
固定負債	42,784,000
設備資金借入金	42,784,000
負債の部合計	176,566,135
純資産の部	
基本 金	218,750,467
3号基本金	218,750,467
その他の積立金	45,000,000
人件費積立金	15,000,000
修繕積立金	15,000,000
備品等購入積立金	15,000,000
次期繰越活動収支差額	190,810,273
次期繰越活動収支差額	190,810,273
(うち当期活動収支差額)	29,393,195
純資産の部合計	454,560,740
負債及び純資産の部合計	631,126,875

事業活動収支計算書

(自)令和2年4月1日(至)令和3年3月31日

勘 定 科 目		本年度決算	
事業活動収支の部	収入	自立支援費等収入	289,317,196
		補助事業等収入	2,765,091
		利用料収入	9,326,950
		処遇改善交付金収入	24,470,474
		就労事業収入	820,539
		寄附金収入	4,859,604
		雑収入	3,703,003
	事業活動収入計(1)		335,262,857
	支出	人件費支出	248,654,976
		事務費支出	25,981,116
事業費支出		21,116,625	
減価償却費		10,944,874	
事業活動支出計(2)		306,697,591	
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)		28,565,266	
事業活動外収支の部	収入	受取利息配当金収入	48,330
		経理区分間繰入金収入	2,823,267
		事業活動外収入計(4)	2,871,597
	支出	借入金利息支出	294,230
		経理区分間繰入金支出	2,823,267
		事業外雑損失	24,802
		事業活動外支出計(5)	3,142,299
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)		-270,702	
経常収支差額(7)=(3)+(6)		28,294,564	
特別の部収支	収入	固定資産売却益(売却収入)	1,098,631
		特別収入計(8)	1,098,631
	支出	特別支出計(9)	0
	特別収支差額(10)=(8)-(9)		1,098,631
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)		29,393,195	
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額(12)		161,417,078
	当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)		190,810,273
	次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)		190,810,273

以上の通り提出します。

特定非営利活動法人 だんでらいおん
理事長 廣瀬重治

以上の決算書を公正妥当な監査基準により監査し
いずれも適法正確なる事を証明する。

令和 3 年 5 月 13 日

監事 奥西将平




以上の通り提出します。

特定非営利活動法人 だんでらいおん
理事長 廣瀬重治

以上の決算書を公正妥当な監査基準により監査し
いずれも適法正確なる事を証明する。

令和 3 年 5 月 17 日

監事 木村 憲治 



特定非営利活動法人 だんでらいおん

令和3年度 事業計画（案）

令和 3年 5月22日（土）
11:00～ （新館1階）

1、法人全体

①長期目標

「親亡き後、子が安全で安心して暮らせる施設づくり」の理念に基づいて、目標としている「障がいの重度化・高齢化、親の高齢化に対応できる 共生型の施設づくり及び地域社会を目指して」について具体化する。

②短期目標

- 昨年、事業を再編した生活介護事業について、事業目標に沿って、各事業の特色を活かした事業運営を確立する。
- 昨年、新設した相談支援事業について、新規契約数を増やして、軌道に乗せる。

③報酬改定等に関する影響

- 感染症や災害への対応力の強化→委員会の設置や業務継続計画の作成 等
 - ※3年の経過措置あり
 - ※運営基準の変更
- 障がい者虐待防止の更なる推進→研修・委員会・責任者の設置
努力から義務へ
 - ※運営基準の変更
- 福祉・介護職員処遇改善加算及び処遇改善特別加算の見直し
 - 経験・技能のある障がい福祉人材の基準見直し。
- 障がい福祉現場の業務効率化を図るためのICTの活用
 - テレビ電話装置等を用いた支援が可能。

□共同生活援助 ・基本報酬は微増、**重度障がい者支援加算の拡充**及び処遇改善、特定処遇の配分率が上昇するなど増収が期待できる。

・利用者1名が区分5→6となる見込み。

・前年度より**約420万円増を見込む**

・医療連携体制加算の算定<訪問看護ステーションとの24時間連携>を模索。
算定できれば**約200万円～約390万円増を見込む**

□生活介護

・平均区分の上昇や重度化の進行、リバティのホーム利用者の送迎開始、職員の加配による**重度加算の算定増**など増収が期待できる。

・前年度より**約1,200万円増を見込む**

□ 処遇改善加算金・特定処遇改善加算金の一時金の分配方法について

【処遇改善加算金】

- ・ 安定して継続的に定昇や賞与を向上していくために、令和6年度より一時金を廃止して、定昇・賞与引当金・法定福利費・退職金のみで充当する。
- ・ 今年度支給する処遇改善加算金の一時金の配分比率は基本給の50%程度とする。

【特定処遇改善加算金】

職員に国家資格取得を促し、安定的な加算取得と資格保持者の支援の質と待遇向上を図るために、令和4年度より一時金を①と②③の配分をそれぞれに徐々に差をつけ、令和8年度より当法人規定の国家資格保持者のみの支給とする。

【特定処遇改善加算金一時金の配分比率】

①A 3/3を支給 <常勤として10年以上勤務し社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士、管理栄養士、簿記一級を保持する者>

①B ①Aの2/3を支給 <常勤として10年以上勤務する者>

②A ①Aの1/2を支給 <常勤で、①以外の介護職員(サービス管理責任者、生活支援員、世話人)で社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士、管理栄養士、簿記一級を保持する者>

②B ②Aの2/3を支給 <常勤で、①以外の介護職員(サービス管理責任者、生活支援員、世話人)>

③A ②Aの1/2を支給 <常勤で、①②以外の他の職種>

④昇格人事について

●管理職

・辻 正晃 部長C →部長B

●役職職員

・柳澤 正博 所属長補佐→所属長

・山下 逸 所属長補佐→所属長

・城崎 恵美 所属長補佐→所属長

⑤職務人事について

班長

土肥 秀治、池田 信宏、平野 邦和、山上 大貴、**福島 久美子、中村 優公**

⑥入職職員

●佐野 華子 (さの はなこ)

社会福祉法人コスモス 実務経験3年 介護福祉士

●山口 美陽 (やまぐち みや)

大阪芸術大学短期学部 保育学科卒 保育士・社会福祉主事

●壬生 芹菜 (みぶ せりな)

大阪城南女子短期大学 人間福祉学科 介護福祉士・社会福祉主事

●中西 爽華 (なかにし さやか)

大阪芸術大学短期学部 保育学科卒 保育士

⑦給与改定について

1, 「危険業務手当」の創設

●A 5,000円(1日)

1, 新型コロナウイルス感染症の疑い(保健所より濃厚接触者と認定)のある利用者の介護、入院・通院のための移送等の業務


●B 10,000円(1日)

- 1, 新型コロナウイルス感染症の利用者の介護、入院・通院のための移送等の業務
- 2, 大阪府または大阪府社会福祉協議会等の派遣要請による災害等における救助活動等
- 3, その他、法人が危険業務と認めた場合

2, 「職務手当」の増額

●主担候補(リーダー) 2,000円→3,500円へ増額(月額)

●班長 1,000円→1,500円へ増額(月額)



3, 「年末年始出勤手当」(12/31~1/3)の創設

●10,000円(1日)

●統括施設長、施設長、施設長代理、部長は除く

4, 行動援護に「休日活動手当」の創設

●日、祝、12/30~1/3


●1時間につき250円を上乗せ

⑧新型コロナウイルス感染症対策の継続、ワクチン接種について

- 引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策として、希望する職員の車通勤を継続する。
 - ・現に公共交通機関を利用しての通勤を申請している職員を対象
 - ・公共交通機関に20分以上乗車している者（感染状況を鑑みて段階的に解除していく）
- 一泊旅行は中止。ワクチン接種・感染状況を鑑みて日帰り旅行を計画（中止の場合あり）
- 職員同士の飲み会、理事との懇親会は自粛。

●事業ごとの対策

- ＜共同生活援助＞ 一泊旅行は中止。ワクチン接種・感染状況を鑑みて日帰り旅行を計画。（中止の場合あり）
- ＜生活介護＞ 一泊旅行は中止。ワクチン接種・感染状況を鑑みて日帰り旅行を計画。（中止の場合あり）
- ＜行動援護＞ **公共交通機関での移動の自粛・車で移動を積極的に活用。**
- ＜移動支援＞ **公共交通機関での移動の自粛・車で移動を積極的に活用。**
- ＜短期入所＞ 感染状況を鑑みて、外部の受け入れを調整していく。
- ＜相談支援＞ **リモート会議などを活用して感染対策を強化する。**



●ワクチン接種について

- ・ 2 / 19 付 大阪市福祉局障がい者施策部より通達あり。
- ・ **大阪市としては入所施設、共同生活援助の利用者、職員から接種を開始する。**
- ・ 接種に関する希望調査あり（集団接種不可、利用者15人、職員31名を返答する）
- ・ 今後、利用者の主治医等に接種に関する調査を開始する。

2、共同生活援助 「みんなの家」

【事業目標】入居者様の高齢化・重症化に備え、ICTを積極的に活用していきます。

●職員配置

- ・基本報酬単価の人員配置区分（世話人の配置に応じた評価）は4：1
- ・夜間支援等体制加算（Ⅰ）[原則、入居者様5人に対して1人の夜勤職員を配置]
- ・重度障害者支援加算（Ⅰ）[支援区分6で行動援護対象者]
- ・**重度障害者支援加算（Ⅱ）[支援区分4、5で行動援護対象者]**
- ・福祉専門職配置等加算（Ⅱ）型 [常勤配置8人中2人が国家資格保持者]

[職員配置体制表]

職 種	常勤 (内、兼任)	非常勤 (内、兼任)	合 計	常勤換算
世話人	2名 (1名)	11名 (0名)	13名 (1名)	4.98名/日
生活支援員	15名 (13名)	1名 (0名)	16名 (13名)	6.83名/日
合 計	17名 (14名)	12名 (0名)	29名 (14名)	11.81名/日

[入居者様の支援に関して]

- 1、入居者様の各居室に見守りセンサーを導入することにより、睡眠状態や体調の変化をより正確に把握し、健康管理の徹底に繋がります。
- 2、入居者様のバイタルデータ、服薬状況などを一元管理するため、クラウドサービス（Heart Line）の導入を検討します。
- 3、食事内容を個別に見直し、健康の増進、成人病の予防を図ります。
- 4、入居者様に歩数計を携行してもらい、一日の運動量の把握に努めます。
(運動不足と考えられる利用者様に関しては、生活介護、居宅介護と連携し、運動量を増やす活動や予定を取り入れていく)

3、4、生活介護 「こんふぉーと」 「リアン・リバティ」

【事業目標】 新たな活動メニューを取り入れ、利用者様の経験拡大、充足度の向上を図ります

開所日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	22	22	22	22	21	22
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	22	22	21	21	20	23
合計 260日 (前年度比-2日)						



[利用者様の日中活動支援に関して]

●**新たな活動、作業（ネスレMACHI ECO便）を取り入れることで利用者様の経験拡大、充足度の向上を図ります。**

●**コロナ禍で外に出る機会が減少したため、創作活動で四季を感じるものを作成・展示します。また行事についても季節に応じたものを実施していきます。**

●**利用者様の目線での安心と安全を目指します。**

[主なサービス内容]

- 1、内職作業・スポンジ袋詰め「因幡電気産業株式会社」「エコ産業」
- 2、ポスティング作業・情報誌「ぼど」、お弁当チェーン「かまどや」
- 3、**ネスレMACHI ECO便**
- 4、プール・登山・軽運動
- 5、畑（藤井農園）
- 6、調理実習（班ごとで実施）
- 7、地域清掃 町会の公園掃除、道路のゴミ拾い
- 8、**運動機能訓練（リハビリ等）**
- 9、その他 利用者様にとって必要な活動

[行事計画]

- 班別レクリエーションとして、4月（花見風）、8月（夏祭り風）、10月（ハロウィンまたは紅葉散策）、2月（節分）に実施。

※ 飲食は事業所敷地内・移動は公用車など感染症対策を実施。

- 1月に日帰り旅行を事業所行事として実施

利用者の会の方々にも参加していただき、下見を含めた計画段階から参加していただく。

生活介護「こんふおーと」

[登録利用者数]

事業所名	区分6	区分5	区分4	合計
こんふおーと	20名	6名	0名	26名

＜新規利用者＞なし

[職員配置]

- ・ 人員配置体制加算（I）型【1.7対1】
- ・ 福祉専門職配置等加算（I）型 [常勤配置14名中6名が国家資格保持者]

事業所名	常勤（内、兼任）	非常勤（内、兼任）	合計	常勤換算
こんふおーと	14名（10名）	3名（0名）	17名（10名）	13.4名/日

生活介護「リアン」

[登録利用者数]

事業所名	区分6	区分5	区分4	合計
リアン	11名	0名	0名	11名
リバティ	2名	3名	1名	6名
合計	13名	3名	1名	17名

＜新規利用者＞なし

[職員配置]

- ・ **人員配置体制加算（I）型【1.7対1】**
- ・ 福祉専門職配置等加算（II）型 [常勤配置10名中3名が国家資格保持者]


事業所名	常勤（内、兼任）	非常勤（内、兼任）	合計	常勤換算
リアン	7名（3名）	3名（0名）	10名（3名）	8.01名/日
リバティ	3名（2名）	2名（0名）	5名（2名）	3.30名/日
合計	10名（5名）	5名（0名）	15名（5名）	11.31名/日

5、だんでらいおん 居宅介護事業所

[今年度の目標]

利用者様個々の健康づくりに配慮したヘルパー計画を立案します。

- ・利用者様が余暇を楽しみながら健康づくりが出来るよう、利用者様個々の健康状態、年齢、特性に十分配慮したヘルパー計画を立てます。
- ・**健康診断等で利用者様の体重を把握し、基礎疾患等を踏まえ、個人に合わせて運動量を調整することで、成人病対策、健康の増進を図ります。**
(目安：BMI 25以下)
- ・心身状態、障がい特性に応じて公用車を活用するなど、柔軟なサービス提供を行います。



①行動援護

- 登録利用者数 19名
- 登録従業者数 31名
- 登録時間数 776時間
- 幹旋時間見込み **500時間/月**

②移動支援

- 登録利用者数 5名
- 登録従業者数 17名
- 登録時間数 105時間
- 幹旋時間見込み **7時間/月**

6、短期入所事業所 ルポゼ

【事業目標】 予約システム導入

今年度は、予約システムを導入し予約がスムーズに行えるようにしていきます。

- ・怪我やあざの有無を確認、早期発見するため朝夕のボディチェックを徹底します。
- ・ホームで運用している見守りセンサーを導入します。

●登録利用者数<内、重度加算対象者数>男性16名<内12名>・女性14名<内11名>

- ・区分6 男性12名 女性12名
- ・区分5 男性3名 女性1名
- ・区分4 男性1名 女性0名
- ・区分3 女性1名

●職員配置

- ・管理者兼生活支援員 女性1名 (内1名)
- ・生活支援員 男性4名 (内4名) 女性2名 (内2名)
- ・栄養士兼調理員 女性1名

※生活支援員は生活介護事業の生活支援員と兼務

※ () は行動援護又は強度行動障がい支援者資格者

●利用見込み延べ人数《年間》

区 分	年間延べ人数	月平均
区分6	1 3 6 1名	1 1 3. 4名
区分5	2 7 0名	2 2. 5名
区分4	2 4名	2. 0名
区分3	2 4名	2. 0名
合 計	1 6 7 9名	1 3 9. 9名

●介護給付費対象外サービスについて

- ・朝食 450円（食材費300円）・昼食 550円（食材費400円）
- ・夕食 650円（食材費500円）

(1) 予約は当該月の前月の1日より可能とするが予約期間ごとに一回かぎりの電話で3日までの予約とする。

予約期間について、A期間（1日～15日）・B期間（16日～30日）の営業日・営業時間とする。

ただし、家族の入院や冠婚葬祭など緊急を要する場合は契約日数の範囲内で追加予約可とする。

(2) 利用前に利用者の都合によりサービスを中止する場合、下記のキャンセル料が必要になります。

- ・利用日の前々日午後5時までにご連絡いただいた場合→無料
- ・利用日の前々日午後5時までにご連絡いただかなかった場合→1日分の食材費

7、だんでらいおん 相談支援事業所


【事業目標】

東住吉区自立支援協議会の部会に積極的に参加し、地域ニーズの把握に努めます。

- ・令和4年度内に計画相談件数30件達成を目標に掲げ、地域の利用者様との新規契約に積極的に取り組みます。
- ・定期的（1～3ヶ月に一度）にサービス担当者会議を開催し、事業所間で利用者様のニーズや課題について、検討を行い適切なサービス提供に繋がります。

8、地域貢献事業 ※新型コロナウイルス感染状況を鑑みて実施を判断する

- 住道矢田6町会役員会 会場提供（本館 1階）
- 小・中・高校生を対象とした地域ボランティア養成講座
- 福祉教育講座
- 要介護者対応型避難所づくりと防災なんでも電話相談
- ミニ絆、地域学会「総合福祉セミナー」



9、実習の受け入れ

- 大阪城南女子短期大学 専攻科介護福祉専攻
- 南海福祉看護専門学校 介護社会福祉科
- 大阪芸術大学短期大学部 保育学科
- 常磐会学園大学（小学校および中学校の教諭の普通免許授与に関わる介護等体験）

10、団体加盟

●大阪府社会福祉協議会（セルフ部会）

- ・役員（副部会長）－久保統括施設長
外部委員任命 研修センター 委員、大阪府障がい者差別解消協議会 委員
- ・委員（従事者部会 常任委員）－辻部長

●東住吉区自立支援協議会（日中活動系・居住系・訪問系・相談支援部会）

- ・日中活動系（森施設長・東中尾主担・山下逸主担）
- ・居住系（柳澤主担・城崎主担）
- ・訪問系（山下雅主担）
- ・相談支援部会（栗根施設長・津司副主任）

1 1、福利厚生（健康診断）

定期健康診断（一般社団法人 関西健康福祉協会）

5月（視力・聴力・血液・レントゲン・尿・心電図・内科検診・**検便（感染症）** 等）

11月（視力・聴力・血液・レントゲン・尿・心電図・内科検診・**検便（大腸がん）** 等）

インフルエンザ予防接種（一般社団法人 関西健康福祉協会）

11月

人間ドック（松原徳洲会病院）

2月～3月（対象：管理職、40歳以上の常勤職員）

12、キャリアアップ支援制度

●下記、**法人が必要と認める資格を取得する場合の費用負担制度。**※別紙規定あり

①第2種衛生管理者

②相談支援従事者初任者研修（2日課程）

③介護福祉士実務者研修修了

④強度行動障がい者支援者修了（実践）

⑤強度行動障がい者支援者修了（基礎）

⑥行動援護従業者資格

⑦介護福祉士実習指導者

⑧知的障がい者ガイドヘルパー

⑨その他

- ・ 国家資格又は受験資格を得るための学習会等の情報を提供する。
- ・ 資格取得の際の勤務等を配慮し、機会確保を支援する。



13、環境整備

- ・ワックスがけ（株式会社 博明社）

6月20日（日）、10月24日（日）、3月27日（日）

- ・エアコン洗浄（株式会社 ホームパレット）

4月～5月

- ・排水管洗浄（小川工業 株式会社）

10月～11月

第4号議案 令和3年度 予算案

[収入の部]			[支出の部]		
会計区分	金額	備考	会計区分	金額	備考
共同生活援助			共同生活援助		
代理受領収入	77,177,000	国保連	人件費	83,131,000	職員9人、非常勤12人
処遇改善加算	6,630,000		その他経費	13,963,000	
特定処遇改善加算	1,464,000				
利用者負担額	8,000,000	家賃、光熱、食費、日用品			
その他収入	3,860,000	補助金、会費収入			
小計	97,131,000		小計	97,094,000	
生活介護 こんふおーと			生活介護 こんふおーと		
代理受領収入	99,552,000	国保連	人件費	70,725,000	職員14人、非常勤7人
処遇改善加算	4,350,000		その他経費	13,788,000	
特定処遇改善加算	1,390,000				
その他収入	2,090,000	会費、作業収入			
小計	107,382,000		小計	84,513,000	
生活介護 リアン			生活介護 リアン		
代理受領収入	82,943,000	国保連	人件費	61,074,000	職員11人、非常勤8人
処遇改善加算	3,650,000		その他経費	10,111,000	
特定処遇改善加算	1,160,000				
施設整備等補助金収入	1,560,000				
その他収入	880,000	会費、作業収入			
小計	90,193,000		小計	71,185,000	
行動援護			行動援護		
代理受領収入	24,000,000	国保連	人件費	20,785,000	職員1人、ヘルパー手当
処遇改善加算	5,736,000		その他経費	2,253,000	
特定処遇改善加算	1,680,000				
その他収入	100,000				
小計	31,516,000		小計	23,038,000	
移動支援			移動支援		
代理受領収入	163,000	国保連、松原市支援費	人件費	770,000	職員1人、ヘルパー手当
			その他経費	44,000	
小計	163,000		小計	814,000	
短期入所			短期入所		
代理受領収入	18,359,000	国保連	人件費	13,976,000	職員2人、非常勤1人
処遇改善加算	800,000		その他経費	4,605,000	
特定処遇改善加算	250,000				
利用者負担額	1,200,000	光熱、食費			
その他収入	250,000				
小計	20,859,000		小計	18,581,000	
相談支援			相談支援		
代理受領収入	1,500,000	国保連	人件費	6,911,000	職員2人
			その他経費	216,000	
小計	1,500,000		小計	7,127,000	
本部			本部		
会費収入	1,140,000		その他経費	296,000	支払利息 租税公課
寄付金収入					
その他収入					
小計	1,140,000		小計	296,000	
			繰越金 (減価償却費)	47,236,000 (15,460,000)	
合計	349,884,000		合計	349,884,000	

第5号議案 役員改正（案）について

役員名簿

（ 現 行 ）

（ 改 正 案 ）

役職名	フリガナ 氏 名		役職名	
理事長	廣 瀬 重 治		理 事	再任
副理事長	米 田 一 代		理 事	再任
理 事	苗 村 登 美 子	⇒	理 事	再任
理 事	飯 島 伸 一		理 事	再任
理 事	倉 橋 博		理 事	再任
理 事	市 川 貞 子	⇒	理 事	再任
理 事	大 原 敏 江		理 事	再任
理 事	久 保 哲 哉		理 事	再任
理 事	山 本 健 太	⇒	理 事	再任
監 事	奥 西 将 平		監 事	再任
監 事	木 村 憲 治		監 事	再任

任期(2年) 2021年6月1日 ~ 2023年5月31日

会員・寄付の状況

会費

種別	会費 /年(円)		令和元年度		令和2年度		前年度対比	
				金額(円)		金額(円)	金額(円)	%
正会員	12,000	件数	117		119			
		口数	189	2,265,000	181	2,153,000		
	20,000	件数	0		0			
		口数	0	0	0	0		
	小計	口数	189		181		-8	
		金額		2,265,000		2,153,000	-112,000	95.1%
賛助会員	3,000	件数	39		35			
		口数	168.7	503,000	158	474,000		
	20,000	件数	8		4			
		口数	9	180,000	4	80,000		
	小計	口数	177.7		162		-16	
		金額		683,000		554,000	-129,000	81.1%
会費合計		口数	366.7		343		-23.7	
		金額		2,948,000		2,707,000	-241,000	91.8%

寄附金

	令和元年度		令和2年度		前年度対比	
		金額(円)		金額(円)	金額(円)	%
一般寄附金	大口寄付	1,000,000	大口寄付	0		
	その他	927,436	その他	2,052,604		
	クリスマスプレゼント	100,000	クリスマスプレゼント	100,000		
		2,027,436		2,152,604	125,168	106.2%